

教育委員会だより

From the Board of Education

中学3年生による模擬議会 開会！



12月19日に、町議会議場にて、大豊町中学校3年生が議員体験する「模擬議会」が開かれました。

大豊町の小中学校では、総合的な学習の時間を中心に、「大豊を心に刻む教育」を推進しています。その総決算としてこの「模擬議会」を行っています。

カラヘンカラヘン。始まりを告げる鐘の音を合図に、議会が始まりました。町長の行政報告では、前回までの「模擬議会」で質問のあったことについて町が取り組んでいる

ことなどについて次のとおり報告がありました。

「①ヨボウーシ橋の両側に街灯を設置したこと。
②大豊町を PR するプロモーションビデオの作成は、来年度、中学校と連携して作成する方向である。」
このように、中学生の意見を行政で前向きに検討し、取り組んでくれているという嬉しい報告でした。

中学生からは、「介護問題」「大豊町をPRするマスコットキャラクター作成」「アンテナショップ」「大豊町の特産物を料理して提供するカフェ」「動物とふれあえる施設」「スポーツの日」などのアイデアがたくさん出されました。



質問に立った中学生も議場の雰囲気に緊張はしていたようですが、凛とした態度で質問していました。傍聴席には、現職議員や大豊町中学校2年生らも座り、厳粛な中で行われました。

今後の大豊町を担っていく中学生の頼もしい一面を見ることができました。



「大豊を心に刻む教育」として大豊町のことを小学校から9年間学習してきて、大豊町を盛り立てていくためにどんなことをすればよいかを、中学3年生が一人ひとり考えて議会という場で堂々と話す姿に、これからの大豊町を担う若者をたくましく感じました。



第11卷 地域包括支援センター通信

活動にお邪魔させていただきました。筏木地区の活動は平成29年7月8日から始まつた、できてほやほやの地区活動です。

平成29年10月14日(土)吉野川を見下ろす場所にある筏木集会所には小雨の降る中、筏木地区的皆さんのが集まつてきます。今日は2回目のミニデイの日。集



「篠木・ミニーデイ」

- ◆ ◇活動が始まったきっかけを教えてください。
- ◆ 昔は筏木地区にも定期的に集まつて住民同士が話をする機会があつたのですが、人口の高齢化や減少により集まる機会も少なくなつていきました。今では近所の方とも話す機会が少なくなり、定期的に集まれる機会を作るため区長（小笠原征太郎さん）の提案でミニデイ活動を始めることになりました。
- ◆ ◇この活動のウリを教えてください。
- ◆ ここでは10～15人程度の住民が集まり、世間話に花を咲かせます。昼食は皆でテーブル

絵を描くのも、色を塗るのも、協力して、褒め合つて皆さんで一つの作品を作り上げる事ができました。開始から1時間半程度で素敵な看板が完成しました。皆さん口々に「まあいいのができた。」「うさぎがかわいらしい。」と自慢げに話しながら看板を見つめます。◆◇この活動を続けていて嬉しかったことを教えてください。「まだ2回目ですが、気の合う仲間同士笑顔で語り合う時間の大切にしたいと思います。皆が元気でこれからも長くこの活動が続けられたらしいと 思います。」と区長さんは話されます。今日一日皆さんの笑顔とお話は絶えることはなく、1日中集会所は素敵な笑顔に満たされていました。



地域で実施できるようリズム体操やゲームなどの伝達講習を行いました。音楽に合わせて体操をしたり、新聞を使った簡単なパズルや童謡を歌いながら指遊びをしたりと参加者17名で有意義な時間を過ごすことができました。

会所の玄関に近付くと、中から楽しい笑い声が聞こえてきました。集会所では何が行われているのか、少しのぞかせていただきました。入口を開けると「ここにちは」と、皆さんがあいさつで迎え入れてくれました。